



～ありがとう!!～

9月21日で

コープながのは設立30周年を迎えました



組合員数の推移

年度	組合員数(人)
1992	146,028人
1994	168,832人
1996	177,770人
1998	185,740人
2000	198,881人
2002	205,597人
2004	208,379人
2006	211,799人
2008	225,010人
2010	238,239人
2012	255,029人
2014	275,603人
2016	295,442人
2018	311,796人
2020	323,053人
2021	327,822人

県内にあるコープながの事業所



宅配センター：13センター
 店舗：2店舗
 福祉事業所：3事業所+3宅老所

Socia5月号で募集した「30にまつわるエピソード」をご紹介します!

コープながの30周年おめでとうございます。私は長野に戻って来てから30年にならないのですが、コープながのへ加入してから宅配で助かっています。グループでは個人の家に引き受けに行かなくてはなりません。食品の鮮度・産地の吟味された食品で、安心安全が叫ばれている時代にあっていると思います。商品の数が増えて生活に潤いが生まれます。カタログもたくさんあって楽しみです。これからも宜しく。 《齋藤茂代さんより》

私が30歳の時、養母が肺がんで亡くなりました。私は、“特別養子縁組”で、血縁が全くない他人の養母の所で生後1日目から育ててもらいました。本当の我が子のように育ててもらったので、30歳の時は特に辛かったです。 《長野県民さんより》

私は『30』歳だった昨年、初めての出産を経験しました。生まれる前から赤ちゃんに病気があることが分かり、お腹の中で突然亡くなってしまう可能性があると言われていたので、生まれるまで心配でたまりませんでした。無事に生まれて、元気な泣き声を聞いた時は涙が止まらなかったです。こんなにも幸せな瞬間を味わったのは初めてでした。生後2日で1回目の手術をし、1歳になるまでに計4回の手術を乗り越えて、今は元気に過ごしています。この子のおかげで、毎日何気なく過ごしていた日々は、当たり前ではないこと、多少悲しいことや嫌なことがあっても健康で楽しく過ごせることがどんなにありがたいことかということに気づくことができました。毎日少しずつできるようになることが増え、成長していく我が子を一番近くで見守れることに日々幸せを感じています。『30』歳は自分にとって大きな変化の年でした。多くのお医者さんに支えられて、今の幸せな日々があること、4度の手術を頑張ったことを我が子にもしっかり伝えたいと思っています。 《まるさんより》

コープながの30周年おめでとうございます。私は県民生協創立の時からお世話になっています。以前夫が勤続30周年の表彰を受けた時のご褒美で、お祝い金をいただきました。せっかくなので、二人で北海道旅行に行ってきました。秋の紅葉のきれいな層雲峡や、網走の刑務所、美しい知床半島、札幌の大通公園、小樽運河に、オルゴール館やガラス店を訪れ、おいしいお寿司を食べてきました。美しい摩周湖が印象的でした。信号が無く、まっすぐ続く長く長い道路を走り、どこまでも続く広いひろい畑をみて、さすが北海道だなあと感動しました。夫の勤続30周年の良い思い出の旅行になりました。 《小林聖子さんより》

「30」…私が社会人になったのも、今から30年前になります。コープながのが30周年。おめでとうございます。当時、会社の電話で、親機と子機に分かれていることが画期的でした。今では、スマホという、薄い電話機が出るとは想像もしていませんでした。今年の朝ドラや30年前に放送されたドラマのリメイク版も、働く女性がテーマになっており、いろいろ意見もあると考えます。どちらにしても、社会とつながっていくことが必要だなあと実感しました。SDGsも積極的に考えられるようになりましたのも、コープながのおかげです。これからも、よろしく願います。 《嶋岡あかねさんより》

30歳、それは私にとっても節目の年だ。なぜなら、30歳は結婚した年齢だからだ。自分なんて、どうせ結婚なんてしないさ、と思っていたが、30歳から私の人生は一変した。子どもにも恵まれた。自分のことだけを考えている人生は、終わった。あとは、可愛い孫の顔を見るのが楽しみかな。 《塚田明子さんより》